

箆笥地区協議会

「地域の絆」分科会の活動報告

「地域の絆」分科会は、地域団体や住民へ向け、地域コミュニティへの理解や共助の関係を働きかけるため、「たんす地域の絆プロジェクト」事業を継続的に実施しています。

平成28年度は、多くの地域住民、地域活動団体、企業等にご協力いただき、この「たんす地域の絆プロジェクト」が前進した年になりました。

最初に「ふれあいひろば」についてです。平成28年9月25日の「たんす緑と花のまちづくりフェア2016」の際には、けん玉やお手玉、折り紙などの「昔遊び」ができるコーナーを設置しました。遊び方を教える「昔遊びの先生」を募集したところ、民生委員・児童委員協議会の協力により、5名の方が参加してくださり、「昔の子どもも、今の子どもも一緒に遊びましょう！」というテーマを実現することができました。また29年1月22日の「牛込箆笥地域まつり」では、火鉢を置き、暖を取りながら交流を図りました。その際、新宿区社会福祉協議会のボランティアの方々や、地域交流館の職員の方々が運営に協力してくださいました。さらに、地域で養蜂を行なっている委員により、蜂の巣から採れる「蜜蝋(ミツロウ)」を使ったロウソクづくり体験コーナーを実施しました。

通算4回目となる「カーブミラー清掃」については、ボランティアの方にもご参加いただき、地域に200本以上あるカーブミラーの内、半分のおよそ100本について、10月と11月の2回にわけて清掃を行いました。11月には、これまでのカーブミラー清掃活動に対して、警視庁と東京都交通安全協会から交通事故防止寄与団体としての表彰を受けることが出来ました。

交通安全の啓発に関しては、この他に「たんす花と緑のまちづくりフェア2016」と、「牛込箆笥地域まつり」に、株式会社ホンダカーズ東京中央の協力で「自転車シミュレーター」のコーナーを設けました。子どもも大人も多くみなさんに「自転車シミュレーター」を体験して頂き、自転車の交通ルールとマナーを楽しく学んでもらいました。また、11月に牛込第三中学校で開催された地域レクリエーション大会では、牛込警察署と共に、交通安全の啓発物品を配布しました。

9月には、津久戸小学校3年生の行う、地域安全マップ作成学習の事前指導への参加とフィールドワークに同行し、通学地域内の危険箇所を児童と一緒に確認しました。その後、児童が作成した地域安全マップを基に、ピーポ110ばんの家などの情報を加えて再構成した地域安全マップを絆分科会で作成し、学校へ配布しました。

今年度は2月に学習会と視察を行いました。学習会は「災害が起きたら、あなたは？」というテーマで、地震発生時に備えての防災意識の啓発のため、箆笥地域にお住いの語り部の方にご協力いただき講話「防災あかずきんちゃん」を実施しました。さらに、牛込消防署員から「東京防災を使った防災講話」を、最後に牛込消防団や防災ボランティアの協力によりAED講習を実施しました。箆笥地域の内外を問わず、多くの参加があり、アンケート結果も好評でした。視察は最近リニューアルした「しながわ防災体験館」を訪れました。消火栓やスタンドパイプを使った放水や災害時における要支援者の介助などの体験をすることが出来ました。学習会と視察を通し、改めて防災に対する関心の高さを感じる事が出来ました。来年度以降も防災意識の啓発のための事業について、検討していきたいと思ひます。

今後も地域の安全安心のため、絆づくりのため、様々な団体と連携しながら、地域の絆分科会の活動を行っていきたく思ひます。